

遠賀川河川事務所前の中州における 「ハイドロバリヤー水制」の設置について



遠賀川河川事務所屋上より川にたまつた土砂を望む

直方市のリバーサイドパークを流れる遠賀川は、平成21年・平成22年の大洪水により川の中に土砂がたまり水の流れを阻害しています。

またこの場所は、住民団体によるカヌー教室や川流れ体験など、川の中での利用・活動が大変盛んな場所でもあります。土砂がたまることにより事務所側の護岸付近の川底が深くない危険な状態となっています。また、これ以上川底が深くなると護岸が壊れる恐れもあります。

そこで、国土交通省 遠賀川河川事務所では洪水の流れによるたまつた土砂を下流に移動させる「ハイドロバリヤー水制」を試験的に中州に設置します。

来週12月6日より作業を行う予定であり、年内に完成させる予定です。
(ただし、気象状況により多少日程は変わります。)

川底が深く掘れている箇所(事務所側の川岸)や、ハイドロバリヤー水制周辺は危険ですので、一般の方は近づかないようしてください。

なお、簡易な試験施工のため、設置は国土交通省職員自らが行います。

【この記者発表に関する問い合わせ先】

国土交通省 遠賀川河川事務所 TEL0949-22-1830(代表)
建設専門官 平井 新太郎

ハイドロバリヤー水制とは、洪水(水)の流れで、ハイドロバリヤー水制周辺の土砂を下流へ移動させることを目的に設置するものです。

今回の箇所についても土砂が溜まってきており、移動させたい場所に設置することにより土砂を下流へ流し、川の安全性を高めます。

対策イメージ

